

シリーズ「がんと診断されても仕事を辞めない」

(その4) 職場と病院とをつないでくれる人を探そう

●治療と仕事の両立支援

がんと診断されても仕事を辞めることなくうまく両立するのを支援する取り組みを「治療と仕事の両立支援」といい、働き方改革のひとつにも挙げられ、国も力を入れています。総務に「治療と仕事を両立したい」という意思を表明した場合、総務が産業医にそのことを伝え、産業医が主治医との間を取り持って、職場での注意事項を聞き出してくれることも多いでしょう。しかし、大企業であれば専属産業医がタイムリーに動いてくれるでしょうが、2か月に1回程度しか職場を訪問しない嘱託産業医だとそこまで細やかなことができないかもしれません。そもそも従業員が50人未満の会社では産業医が選任されておらず、医学用語で主治医と情報共有することができる人材が会社にはなかなかいません。そんなときは誰にコーディネートしてもらおうとよいのでしょうか？

●鹿児島産業保健総合支援センターにコーディネートしてもらおう

主治医と職場を取り持ってくれる人がいない場合は、鹿児島県産業保健総合支援センターに相談してみましよう。「さんぽ鹿児島」と検索すると出てきます。そのホームページのトップの「両立支援」というバナーをクリックすると、様々な相談の仕方が書かれています。しかも無料です。相談者するのは誰でも構いません。患者本人、その家族、社長、総務、産業保健スタッフなどでしょう。日時は限られてはいますが県内各地の医療機関に出張相談窓口もあります。下のQRコードからも両立支援を申し込むことができます。

